



**6** 夏の夜を照らす灯籠 六月灯！

7月18日(日),夏の風物詩と言える六月灯(ろっがっどう)が町内の各集落で行われました。

六月灯は、2代藩主島津光久のころ、子孫繁栄や疫病退散を願って、城下に灯籠を飾ったのが始まりといわれています。

本町でも集落の子ども会が中心となって、人気漫画のキャラクターを描いたり、習字を描いたりした灯籠を手作りすることが、伝統行事となっています。

灯籠は、公民館などにつるされ、夏の夜を淡い光で照らしました。

都萬神社では、茅(かや)で作られた茅の輪(ちのわ)が作られました。

茅の輪はそれをくぐることにより、疫病や罪・けがれが祓われるといわれています。

くぐり方は、左回り・右回り・左回りと、八の字を書くように3度くぐり抜けます。

茅には、勢いよくまっすぐに成長するところから、邪悪を寄せつけず、夏の厳しい暑さを乗り切ることができると考えられています。

**4** 新記録を目指せ！小学校水泳記録会

7月12日(月),町内の5・6年生による水泳記録会が大崎小学校プールで行われました。

自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ、メドレー・リレーが行われ、炎天下のもとで、熱戦がくりひろげられました。

児童たちは、自己ベストをめざして、最後まで精一杯泳ぐ姿が見られました。

最後の学校対抗のフリーリレーは、最大の盛り上がりを見せ、テントの中からは、声援が飛び交いました。

**5** 小学生とチャレンジ交流会！

7月27日(火),シルバー人材センターでは、子供たちと高齢者のふれあいの場を設けようとチャレンジ交流会を開催しました。

参加した子ども達は、シルバー会員と一緒に、水鉄砲やお手玉、竹とんぼ作りを楽しみました。

昔懐かしい遊び道具を手に、大きな笑い声が響き渡りとてもにぎやかな一日になりました。